

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/

231号の  
主な記事

- 第3回定例会概要、議員提出議案..... 1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2 ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5 ページ
- 決算特別委員会の概要..... 6～8 ページ

### 第3回定例会日程

9月20日	議案上程、委員会付託
25日	代表質問
26日	一般質問
28日	
10月1・2・4・5・9日	} 決算審査
10・12日	
15日	議案審査
16日	請願・陳情等の審査
24日	委員会報告及び表決

## 平成30年第3回定例会

# 平成29年度各会計歳入歳出決算を認定

### 補正予算を含む12議案及び「江戸川区議会の国際交流推進に関する決議」と意見書を可決

平成30年第3回定例会は9月20日から10月24日までの35日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、総額78億3000万円余を計上した一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む議案11件、同意1件、報告8件が提出されました。

平成29年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「江戸川区議会の国際交流推進に関する決議」を含む3件の議案を提出し、継続審査となった1件を除き、それぞれ可決しました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、1月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。



源心庵（行船公園）

### 江戸川区議会の国際交流推進に関する決議

戦後70年余を経過し、現在の日本は平和で経済的に繁栄し、文化的・歴史的に大変魅力のある国として、世界の人々から尊敬と関心を集めるようになった。また、訪日外国人旅行者も2017年には2,869万人となり、5年連続で過去最高を更新し、2020年には4,000万人の目標が掲げられている。日本人の出国も2017年には1,789万人を数え、今や国際体験を通じた豊かな人生の構築となる国際交流は、地方行政にあっても推進・支援すべき大切な施策の一つとなっている。

本区においても、国際交流の一環として本年5月にオーストラリア・セントラルコースト市との間で姉妹都市盟約の再締結及び旧ゴスフォード市からの姉妹都市交流30周年の記念行事が行われた。また、2003年から行われている「青少年の翼」事業は、国際的に活躍する青少年の人材育成に大きな成果を上げているところである。

こうした中、アメリカ・ホノルル市議会と江戸川区議会との間で友好交流の階（きざし）を得るに至り、この好機に文化・観光・スポーツ・教育など様々な分野で相互理解と友好を深める事は、両都市の更なる発展と国際体験の充実及び区民文化の醸成に大きく寄与するものであり、今後も情報交換・研究・協議を行い、相互に実りある活動の推進と継続的な交流が必要である。

よって、江戸川区議会はホノルル市議会と協力し、両議会の交流の輪が両都市の交流へと発展させていくことを固く決意する。

平成30年10月24日

江戸川区議会

### 議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

#### 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

〔内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、総務大臣、国家公安委員長 あて〕

近年、児童虐待は急増しており、平成28年度全国の児童相談所に寄せられた相談件数は12万件を超え、5年前と比べると倍増している。虐待から子どもの命を守るためには、子どもの異変に早期に気づき、虐待の芽を摘むことが重要であり、その為には関係機関や民間団体が協働し、虐待の防止に取り組むことが必要である。

このために、児童虐待防止体制を強化するプランを新たに策定するとともに、必要な財源を速やかに講ずることや各関係機関等との連携を強化し役割分担・協働を加速する「児童相談体制改革」を行うことなどを国に求める。

**議案等の概要と結果**  
(○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、区民…えどがわ区民の会  
共産…日本共産党、江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク  
(議長を除く 計43人)

件名	概要	自	公	区	共	江	生	無	賛	反	結
		民	明	民	産	戸	ネ	所			
		14人	13人	5人	5人	4人	2人	1人			
<b>区長提出議案</b>											
予算	平成30年度江戸川区一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	平成30年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	平成30年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	平成30年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
条例(一部改正)	江戸川区議会議員選挙及び江戸川区長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区陸上競技場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区立児童遊園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
	江戸川区副区長定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	43	0	可決
同意	江戸川区副区長の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	43	0	同意
報告	平成29年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	38	5	認定
	平成29年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率の報告について	/									
	平成29年度江戸川区一般会計の継続費の精算について										
	専決処分した事件の報告について										
	専決処分した事件の報告について										
	専決処分した事件の報告について										
	専決処分した事件の報告について										
	専決処分した事件の報告について										
議決を得た契約の契約変更について											
<b>議員提出議案</b>											
37号	児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	38	5	可決
38号	江戸川区議会の国際交流推進に関する決議	○	○	○	×	○	×	×	35	8	可決

**皆さんから出された請願・陳情**

新たに受理されたもの	付託委員会	番号	内容	委員会
117号 犯罪被害者等支援条例制定に関する陳情	総務委員会	120号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	総務委員会
118号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出を求める陳情	福祉健康委員会	121号	青少年健全育成基本法制定を求める意見書の提出を求める陳情	文教委員会
119号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	総務委員会	122号	江戸川区庁舎内での政党機関紙「赤旗購読」に関する調査の陳情	総務委員会 参考送付
		123号	江戸川グラウンド使用に関する陳情	文教委員会

今回の定例会で結果が出された請願・陳情	自	公	区	共	江	生	無	賛	反	結
	民	明	民	産	戸	ネ	所			
95号 すくすくスクール学童クラブ登録における補食実施事業を2012年度以前の実施方法に準じて再開することを求める陳情	○	○	○	×	○	×	○	36	7	不採択
97号 スーパー堤防の地盤の強度不足問題の原因究明と、堤防の上に家を建てるまちづくりはやめることを求める陳情	○	○	○	×	○	×	○	35	8	不採択 <sup>*1</sup>
107号 2018年度中学校道徳教科書採択に関する陳情	○	○	○	×	○	×	○	36	7	不採択

不採択に賛成…○、反対…×  
\*1 えどがわ区民の会は、会派拘束を解き、採決にあたりました。

## 区政への質問

9月25日に代表質問、26日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

### 代表質問

#### 一人ひとりの幸せを大切にすまち江戸川区!



自由民主党  
早川 和江



#### 問 平成29年度の決算状況について

- ①平成29年度決算における区長の評価は。
- ②新年度予算編成にあたって、重要施策のバランスと財源の配分についての区長の考えは。
- 答 ①健全財政を維持し、将来に負担を負わせないよう、適切な財政運営をしていく。
- ②重点的な施策をうまく合理的に進めながら、工夫を凝らしていく。

#### 問 災害対策について

- ①避難路としても活用できる補助286号線の延長としての都県橋の実現の可能性は。
- ②災害時の段階的な情報発信をどのように区民に理解してもらうか。
- ③差し迫った危機の情報発信は。
- ④日本語理解が十分でない方への情報発信は。
- 答 ①国や都、千葉県に働きかけ、早期に完成するよう市川市とともに努力していく。
- ②町会の方々への説明や来年作成予定のハザードマップ等を活用し、啓発していく。
- ③防災無線やFMえどがわの緊急割り込み放送、エリアメールなどで発信していく。
- ④外国語版ハザードマップの作成や区、都、国の様々なツールを活用し進めていく。

- 問 区内に存在する危険建築物に対する対応と今後の見通しは。
- 答 関係部署が連携し早期解決を図っていく。
- 問 手話言語条例の普及促進について、健常手話通訳者とうろう者の手話通訳者で一緒に対応する「リレー手話通訳者」の制度導入に向けての見通しは。
- 答 関係者と協議をしながら早期に取り組んでいく。



#### 「リレー手話通訳者」の制度導入の見通しについて

#### 問 児童虐待防止の取り組みについて

- ①目黒区児童虐待死亡事件を受けて、児童虐待防止に向けての区長の決意は。
- ②児童相談所と子ども家庭支援センターとの連携、役割分担は。
- ③江戸川区子どもの保護に関する協議会における情報の共有や協議の内容について。
- ④子どもの安全確認、支援のための訪問は。
- 答 ①ショックを受けているが、今後、児童相談所を運営するにあたり、深く考えていかなければならないケースだと思っている。
- ②子ども家庭支援センターと連携を深め、児童相談所開設に向けて、対応していく。

- ③関係機関の連携が必要不可欠であり、今後の確に対応して進めていく。
- ④単なる目視に留まらず、関係者に話を聞き、更なる支援に繋げていくように努める。

#### 問 子どもの食の支援と感謝や食後の歯磨きなどの生活習慣について

- ①支援の実績と課題、今後の展望について。
- ②子どもたちが心身ともに成長できる工夫は。
- 答 ①様々な支援に繋げることができ、児童相談所開設の大事な布石である。
- ②関係団体とも相談しながら、取り組んで行きたい。

#### 問 幼児教育無償化について

- ①保育需要の増加と保育の質の確保など、円滑な導入に向けての考えは。
- ②自己負担の生じる可能性のある幼稚園に通う子どもを持つ家庭への支援措置は。
- ③幼稚園の「預かり保育の実施」について。
- 答 ①抜本的な待機児童対策が必要である。
- ②可能な限り、これまで以上の負担が生じないようにしっかりと努める。
- ③待機児童対策の一環として注視する。

#### 大規模水害への備えと京成小岩駅周辺の街づくりの推進を



公明党  
堀江 そういち



#### 問 大規模水害及び猛暑対策について

- ①広域避難場所となりうる周辺行政機関との連携をどのように取るか。
- ②施設の要配慮者対策として、施設管理者に水害対策の支援を。
- ③新しい広域避難計画とハザードマップの作成方針は。
- ④江戸川区オリジナルの「マイ・タイムライン」を作成すべきでは。
- ⑤避難所となる体育館の猛暑対策について。
- 答 ①近い将来、大いに強化していかなければならず、より具体的な課題と考えている。
- ②今後の取り組みについて研究し、施設管理者にどんな対応が必要かを聞き取っていく。
- ③江東5区版をもとに江戸川区版として丁寧に細部にわたり作成する。
- ④家族内や企業同士で考えていただける素材を提供する。
- ⑤今後の学校施設の整備の中で検討したい。

#### 問 幼児教育無償化について

- ①待機児童対策として、保育の受け皿を拡大しているが、無償化の影響について、どのように認識しているか。
- ②これまで以上の負担が生じる恐れのある私立幼稚園の保護者に負担軽減措置の対応は。
- 答 ①保育所の更なる拡大が考えられ、方向性の議論が必要である。

#### 幼児教育無償化について



- ②無償化の目的が達成されるよう関係者と十分協議していく。

#### 問 受動喫煙防止対策について

- ①区施設への進捗状況と今後の対応方針は。
- ②区内事業者や飲食店及び区民への国の法律、都条例の周知と啓発は。

- 答 ①都条例を是とし、国の政省令を待って、具体的に検討する。
- ②事業者等には、補助制度も含め丁寧に周知する。また、がん予防出前教室や乳幼児健診での啓発、禁煙治療のできる医療機関の紹介も進めたい。

#### 問 性的指向・性自認 SOGI に対する差別解消のための区の取り組みは。

- 答 職員の見識を高め、様々な対策を積み上げながら、取り組みを進めていきたい。

#### 問 京成小岩駅周辺の今後のまちづくりと連続立体化についての今後の取り組みは。

- 答 都と連携しながら、早期の事業化に向けて進めていきたい。

#### 京葉交差点の渋滞緩和 区道の電線類の地中化



えどがわ区民の会  
中里 省三

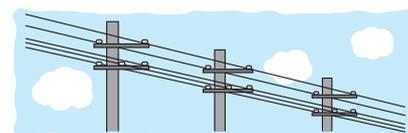


- 問 京葉交差点の渋滞緩和策について、新小岩から船堀に向かう都道は、左レーンの新設を待つばかりのところまで止まっている。その理由と今後の工事予定は。

- 答 工事契約の不調により遅れていたが、契約が成立したので、平成31年度にかけて工事を行う。

- 問 区道における電線類の地中化について、国道や都道は地中化が進み、景観、災害にも対応している。区道については、どのように考えているか。

- 答 都の「無電柱化チャレンジ支援事業」等を利用し、沿道のみなさんのご理解・ご協力のもとに進めていきたい。



#### 電線類の地中化について

- 問 元号と西暦について、場所や物事を基準にして、使い分ければ良いと思うが、区役所の文書処理などはどのように使い分けるのか。

- 答 公文書については、原則として元号を使う。住民票等とくに理由がある場合は、西暦または併記ということで対応する。

#### 問 様々なメリットがあるドライブレコーダーを区の保有する庁用車に搭載する考えは。

- 答 現在、ドライブレコーダーを搭載した庁用車はないが、今後、性能やコスト、普及率を見ながら検討したい。

#### 防災無線個別受信機配備、スーパー堤防に替わる治水を



日本共産党  
セバタ 勇



#### 問 江東5区大規模水害対策について

- ①「江東5区広域避難推進協議会」の座長でも

ある区長は、今回の計画の目的や課題をどのように考えているか。

②東京都の「高潮浸水想定区域図」との関係について。

③江戸川区のハザードマップと江東5区による避難計画との関係は。また、区民への説明会を開く考えは。

④住民への防災情報の提供はどうなっているか。また防災無線の戸別受信機の配備支援等の検討を。

☑ ①江東5区が連携し共同で策定したので、その意義は大きいと考える。

②江東5区でまとめ上げたリーフレットに使用している。

③基本的には変わらない。区民への説明については、各連合町会をもとに、今始めている。

④共助によってカバーしていくことが有効であるため、個別支援の考え方はない。



### 江東5区大規模水害対策について

☑ 上篠崎一丁目北部地区のスーパー堤防とまちづくり事業について。

①仮換地案の提示が当初のスケジュールから大きく遅れている原因は。また、いつ明らかになるのか。

②今後、策定される地区計画のスケジュールについて、策定の範囲、時期等は。

③飛び換地を含め、地盤改良が必要で事前の地盤対策について、地権者・区に負担を求めスーパー堤防事業は見直しを。

☑ ①地権者からの様々な要望を実現するため時間を要している。仮換地案の供覧は、概ね1年後を目指している。

②範囲については、東京都と協議・調整を進めている。まちづくりについて地権者としっかり話し合っていきたい。

③現在、国が宅地利用に供する高規格堤防の整備に関する検討会を進めている。それを踏まえ、飛び換地の安全性向上等を国の責務として示すよう働きかけていく。

### 受動喫煙ゼロを目指して!!



江戸川クラブ  
ます 秀行



☑ 都の受動喫煙防止条例を受け具体的な実施策について。

①所管と定められた保健所において、どのような体制で臨むか。

②民間の事業所に対し様々な角度からの周知啓発が望まれるが、その見通しは。

☑ ①業務の推進体制を検討していく。

②各々が協力して条例の内容を啓発していく。



### 受動喫煙防止条例について

☑ 各区とのサービス不均衡解消のため、出張所機能を拡大する案として、コミュニティ会館

等に証明書発行や町会活動支援などの機能を持たせては。

☑ 人員配置や端末の整備など行政コストがかかる一方、コンビニ交付も始まっている。町会へは、こちらから出向く。

☑ 違法建築物の取り締りについて。

①区内の違法建築物は、現在、何件あるか。また、これまでどのような指導を行ったか。

②違法建築物に対し、指導を含めた今後の対応についての考えは。

☑ ①建築確認の完了検査は、ほぼ受検しており、未受検かつ疑わしいものは是正指導を行っている。

②完了検査の徹底の要求や個別への指導を強化していく。

☑ Wi-Fi環境への高まる需要を満たすために公共施設の整備を進めるとともに、民間施設への設置助成事業の考えは。

☑ 区の施設へは必要に応じて促進する。民間は主体的に行うべきで、既存の財団助成もあり、行う状況にないと考える。

☑ 東京2020大会後のカヌー・スラローム競技場施設の後利用について、東京都の管理下で後利用が決定しているが、区民と区はどのように関わっていくのか。

☑ 様々な要望を出すことは可能なため、皆さんの意見を聞き、必要な協議を進めたい。

## 一般質問

### 篠崎文化プラザに子育てスペースを! 松島区有地構想にスポーツの視点を!



自由民主党  
大西 洋平



☑ 防災教育について。

①児童・生徒にわかりやすいハザードマップを活用し、広域に避難する場所を周知徹底することは、幼少期の防災意識の向上・啓発につながる。さらに踏み込んで、水害に対する防災意識の向上、啓発、指導を行っていくべきと考えるが、今後、どのように水害に対する防災意識を高めていくか。

②より活用しやすい実践的な知識をまとめたマニュアルを活用し、児童・生徒が有事の時にとるべき行動や有効な対応策を共有、体験しながら学べる実践型の防災教育の機会を増やし、推進すべきと考えるが。

☑ ①学習にハザードマップを活用したり、避難場所をわかりやすく指導することは、防災意識を高めるために必要であり、そういった方向で考えている。

②総合防災訓練での体験的な学習などの延長線上の中で学べるような防災教育を行っていきたいと考えている。

☑ 小・中学校体育館の空調(冷房)整備について、今年も猛暑だったが、体育館は災害時の避難所として指定されているケースも多い。ぜひ、整備に踏み込むべきと考えるがどう考えているか。

☑ 今後の学校施設の整備の中で検討したい。  
☑ 篠崎駅周辺は東部区民館と鹿骨区民館の狭間のエリアであるが、子育て世代が多い地域である。そこで、多くの地域住民が慣れ親しむ、憩いの場としてなくてはならない施設となった

篠崎文化プラザに子育て支援スペースの設置を。

☑ 子育て支援スペースを設置するのに適切なスペースが必要と考える。

☑ 江戸川区創業支援施設(チャレンジオフィス)について、経営者創業支援として、家賃優遇や専門家の派遣などが行われている。さらに踏み込んで、初年度決算期等に限り、税理士派遣助成等の支援策はできないか。

☑ 創業したら自分がすぐに確保しなければならない作業ではないかと考える。

☑ 松島四丁目区有地は、1,000坪を超える用地である。ボールが使える広場が近くになく、要望の大きい防災機能を設けることも可能である。そこで、多目的な広場としてボールが使えるスポーツエリアを設けてほしい。

☑ 地元の方々が何を望むのかということに尽きるので、今後、具体的な協議を進めていく中で、議論していきたい。

### バス停の屋根やベンチ等の設置を求める



公明党  
くぼた 龍一



☑ 学校における働き方改革は、国をあげての学校改革であり、区教育委員会としての覚悟が求められるが、具体的にどのように進めていくのか。

☑ 31項目の取り組みを掲げ、教育委員会全体の問題として着実に実行していく。

☑ 危険なブロック塀等を撤去するための助成制度が拡充された。安全を守るため、撤去工事が必要と考えるが、この制度の利用促進についての考えは。

☑ 区民の安全意識を高めることが重要であり、あらゆる機会をとらえて助成制度のPRに努める。

☑ 公園の維持管理のあり方について、効果的に運営していくために民間の資金や力を導入していくことについての考えは。

☑ 財政負担の軽減にもつながるため、民間活力の導入をしっかりと検討していく。

☑ 区内では、バスを利用する人が多いが、バス停の上屋、ベンチ等の設置が進んでいない。これらバス停の利用環境の整備についての考えは。

☑ 区内はバス交通が主要な交通機関となっており、様々な世代の方々が利用するバス停の利用環境改善に向けて努力していく。

### 今後の行財政の在り方と英語教育について



えどがわ区民の会  
小野塚 あやか



☑ 財政政策について

①ふるさと納税の返礼品にサービスを取り扱っている自治体も増えており、地域の在り方を考えるきっかけにもなる。ふるさと納税の導入について、どのように考えるか。

②クラウドファンディングの視点を活用することにより寄付の使い方が明確になり、寄付へのハードルを下げることもつながると思うが、こういった事業を選んで寄付を行える仕組みについて、どう考えるか。

⑤ ①サービスなどは等しく提供されるべきものであるため、ふるさと納税の返礼品としては、馴染まないのではないかと考える。

②何が適した事業かを見極めていくことが、効果的に運用していくために必要であり、さらに研究していきたい。

④ 行政においてAIやIOTの技術を活用し、事務処理等を効率化する流れもあり、実証実験や導入する自治体もある。AI技術の活用も必要と思うが、区ではどのように考えるか。

⑤ 研究が進み、自治体においてもAI技術で対応できる事務は、それによりやっていくことが定着しつつある状況である。

④ 英語教育について

①小学校において、英語教育が発展していく中で、教員の指導力の向上が重要だと考える。英語教育における教員研修の更なる充実についての考えは。

②国際感覚豊かな人材育成の推進は急務であり、英語におけるコミュニケーション能力の向上を図ることは大切である。このようなグローバル人材の育成についての考えは。

⑤ ①英語教育の実践推進校での授業公開や研修など、教員の指導力向上のため、実践的な研修を推進していきたい。

②学校でも様々な機会を積極的に活用し、グローバル人材の育成に努めたい。

羽田空港新ルート案撤回を学校施設整備、コミバスを



日本共産党 大橋 みえ子



④ 羽田空港国際線増便新ルート案について。①区民への周知不足であり、区民の安全を守るため、撤回を国に働きかけることを求める。

②羽田・成田一極集中ではなく、地方空港への直行便増を国に求めるべきだがどうか。

⑤ ①撤回を国に要請するつもりはない。②地方空港直行便のみの増便を国に求める考えはない。

④ 学校における働き方改革プランについて。

①教育委員会は教員の長時間労働の根本的な原因をどうとらえているか。

②少人数学級の早期実施や教職員増による教員の授業の持ち時間軽減が必要だがどうか。

③区独自採用の講師配置、小学校一年生の支援員配置を行うべきであるがどうか。

⑤ ①学校の役割の多様化等により教員が負う業務が拡大していることが原因と考える。②持ち時間数を減らすことは考えていない。③区独自の講師配置等は考えていない。

④ 学校の学習環境整備と体育館のエアコン設置について。

①大規模改修・維持・補修及びトイレの洋式化完了のため、計画化を。

②国や都の補助を求めつつ、体育館へのエアコン設置を改築校から具体化を。

⑤ ①計画的に行っている。②今後の学校施設の整備の中で検討する。

④ 高齢化社会を迎え、コミュニティバスの必要性が大きいですが、様々な調査を行うべきと考えるがどうか。

⑤ 実現が可能になる努力をしている。

スーパー堤防の早期実現と神話教育の推進を！



江戸川クラブ 岩田 まさかず



④ あらゆる事故や自然災害の記憶を風化させないよう、安全風土を培っていくことが、命を守る上で重要であるが、33年前の日航機墜落事故を振り返り、命とは、安全とは何かを考えると、この事故が持つ意味をどう考えるか。

⑤ 未永く記憶にとどめ、思い返すことにより、命をどのように大切にしていこうかということに、思いを新たにする。そういうことに、つなげていく必要がある。

④ スーパー堤防は、想定を超える様々な大規模自然災害に極めて強靱な構造を有しているが、整備事業に多くの困難が伴う。相次ぐ大規模災害の備えとして、早期実現が求められるが、区長のスーパー堤防整備事業に対する覚悟と決意は。

⑤ 堤防強化にスーパー堤防が非常に有力な手段ということで、整備事業がしっかりと進むよう国に対して強く要請していきたい。

④ 長い年月をかけ、語り継がれてきた神話には、現代にも通じる日本人としての本質的な考え方が潜んでいると考えるが、学校における神話教育の指導についての考えは。

⑤ 子どもたちが、神話・伝承を含めた我が国の先人の業績、生き方等について理念が深められるよう教育活動を行っていきたい。

ワーク・ライフ・バランスとエネルギー政策について



生活者ネットワーク 伊藤 ひとみ



④ 働き方について

①「ワーク・ライフ・バランス宣言」後、表彰以外にどのような取り組みを行ったか。

②「イクボス宣言」をしてはどうか。

③管理職の働き方への外部専門家の助言を。

⑤ ①融資の優先枠の設置等を行った。②業務の中で意識しながら果たす。③まずは管理職自身が考える必要がある。

④ エネルギー政策について

①地域や友好都市などとのエネルギー連携を。

②新築建物に環境エネルギー性能や再生可能エネルギーの導入を促す仕組みを設けては。

③公共施設をゼロエネルギー仕様へ。

⑤ ①相手の意向、技術の向上、経済性など長期的視野で研究する。②現在ある制度の利用促進を図る。③可能な限りそうした設備の導入を図る。

今後の区政に生かしていただきたい課題を問う



無所属 須賀 清次



④ ①清潔、礼儀、温厚さと親切さを持つ日本人の心を見直してはと考えるが、こういった日本人の心について、また、これらを踏まえた健全育成のための教育について。

②児童虐待死事件を経験した本区にとって、

悲願であった支援体制の一元化を図る区独自の児童相談所の設置について、現在の課題は。③区は常に防災向上を心掛けているが、地震への備えと台風や高潮などに対して、後世に生きる子どもたちのため、堤防の強化を重ねてお願いしたい。

④人口減少など、多くの課題がある生まれ育った故郷への恩返しとしての事業創設を。

⑤行船公園に心の栄養としておしゃれを楽しむ多目的ホールを作っては。

⑥本庁舎移転後の跡地について、障害を持つ方々が集まる文化・福祉スポーツ施設として考えては。

⑦終活の観点から区営の樹木に囲まれた共有墓地についての考えは。

⑤ 様々な分野において、奥深く格調のある貴重なお話をいただいた。それぞれの提案を反芻し、しっかり味わいたい、今後の区政に生かしていきたい。

健康寿命の延伸に向けたフレイル予防の普及を！



公明党 竹平 ちはる



④ 健康寿命延伸に向けたフレイル(虚弱)予防の普及について、区の考えは。

⑤ 区内の団体等に様々な取り組みを紹介することで、住民主体の健康づくりを広げたい。

④ 発達障害支援の拡大について。

①乳幼児施設等巡回支援事業の指導内容、継続支援について。

②江戸川区発達相談・支援センターの機能と地域支援の具体的な取り組みについて。

③江戸川区発達相談・支援センターの今後の展開について。

⑤ ①療育の充実や保育園等の環境調整を継続的に行っている。

②本人や家族、施設への助言、援助などの相談支援を行う。

③運営していく中で、今後、研究する。

④ 区立保育園では使用済みオムツを持ち帰ることになっているが、今後の方針は。

⑤ 慎重な議論が必要であり、いろいろな角度から検討していきたい。

④ 南小岩南部・東松本付近地区のまちづくりについて、防災上の課題解決とバス交通の整備は。

⑤ 補助 285 号線の整備と公園整備を主に進める。あわせて、バスの環境整備も図る。

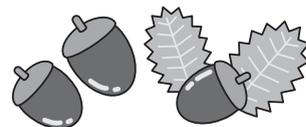
④ 小岩地区の小・中学校の改築について。

①小岩小学校と小岩第二中学校の改築がどのように行われるのか。

②改築中の安全対策や体育、部活動等の学校生活は。

⑤ ①小岩小学校は基本設計の段階であり、小岩第二中学校は、その前段階の設計プロポーザルを実施する段階である。

②学校運営や児童・生徒の活動の影響を最小限に抑えるよう努める。



## 決算特別委員会

決算特別委員会は、9月28日から10月12日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月24日の本会議で採決の結果、平成29年度各会計歳入歳出決算は、賛成38・反対5で認定されました。

### 決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

◎ 須賀 精二	栗原ゆたか	中山たかひと	高木ひでたか
○ 太田きみひろ	野崎まこと	大西 洋平	小俣のり子
岩田まさかず	牧野けんじ	大橋みえ子	セバタ 勇
中津川まさあき	ます 秀行	須田 哲二	うざわ悦子
小野塚あやか	笹本ひさし	えぞえ亮一	川瀬やすのり
神尾てるあき	金井しげる	中里 省三	早川 和江
本西みつえ	佐々木ゆういち	中道たかし	渡部 正明
伊藤ひとみ	所たかひろ	田中 寿一	

委員定数20人(委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

## 平成29年度決算に対する各会派の意見

### 自由民主党(賛成)

江戸川区の財政状況をみると極めて適正な財政運営がなされている。多田区長の区政に寄せる情熱と使命感を多くの職員が体現し、区民と「共育」「協働」の理念を共有する区政運営が遂行されたことを正しく理解し、平成29年度歳入歳出決算に対し賛意を表明する。

[主な要望]

- 区民税の収入未済と不能欠損の減少に向けて、滞納対策強化のさらなる推進を。
- 災害時や今後の予測を踏まえて基金を積み立て、健全財政の推進を。
- 東京2020大会において、江戸川区独自の小中高生ボランティアの実施を。
- 広報掲示板に地域情報を掲示するスペースを設けられるように改善と規定の見直しを。
- 災害発生時の情報発信手段について、住民に正確に情報が伝わるよう課題解決に努力を。
- 東京都の受動喫煙防止条例による江戸川区への影響について、早い段階での区民への周知と対策を。
- 社会的要請型総合評価一般入札について、社会的要請点、価格点の点数配分を再検証し、社会的要請点の比重を高くすること。
- 船堀駅周辺地区に期日前投票所を。また、高齢の投票立会人は2部交代制を。
- グリーンパレスにくつろぎの間に代わる出入り自由のスペースの確保を。
- 総合人生大学の卒業生の活動をサポートし、PRとなるよう努力を。
- 文化振興において文化団体等の活動の向上



江戸川区文化財団の設立を

と充実のため、江戸川区文化財団の設立を。  
○安全な食材提供や都市農業者支援や安全・安心な食材をオリンピック・パラリンピックに提供するため、農業経営者クラブ会員のGAP認証取得に支援を。

- 区画整理の未実施地区に早急な住居表示を。
- 災害時の廃棄物処理計画の早期策定を。
- ラムサール条約候補地となった葛西沖の干潟の今後の環境保全を。
- 防犯カメラ設置について、都への助成枠の拡大と継続の働きかけを。
- ゴミの戸別収集の増加により作業の手間や時間が増大しているため、ゴミ集積所の共同化の働きかけを。
- 妊婦歯科検診について、かかりつけ歯科医院でも受信できるように個別健診を。
- 口腔がんの個別健診の受診者数の増加に対する、より一層の努力を。
- 風疹予防接種に関して、常時、男性にも補助制度を。
- 特別養護老人ホームの待機者解消の推進、介護予防の取り組み推進を。
- 聴覚に障害を持つ方々のために、リレー手話通訳者制度の導入を。
- 子どもの成長支援について、学習支援や子ども食堂等の施策だけでなく、更なる支援を。
- 子どもの学習・食事の支援の際に生活習慣を学べるような指導と健全育成に努力を。
- 都市計画マスタープランに区民の意見を組み込み、魅力あるプランの策定を。
- 管理不全となった危険な建物について、迅速な対応を。
- 環七高速鉄道メトロセブンの整備について、都政や国政を含めた関係機関が早急に統一行動で促進できるよう江戸川区がけん引役を。
- 区内で実施されているレンタサイクルと都内9区で展開されているコミュニティサイクルとの連携を。
- 災害時の避難所となる区内小中学校の体育館への冷暖房設備の設置を。
- 学力向上には、授業の質の向上や生徒の学習意欲の向上を、体力向上には、運動していない子どものボトムアップを図る指導を。
- 区内小学校の虫歯対策の推進を。
- 小中学校への人権教育の強化を。
- 発災に際し、すぐに行動できるよう学校での

防災学習の早急な開始を。

### 公明党(賛成)

平成29年度決算審査にあたり、江戸川区の経常収支比率は前年度比1.6ポイント増加し、5年連続で適正範囲を維持していること、また財政調整基金を取り崩さず予算編成が行われ実質単年度収支は黒字を保つなど、健全財政を堅持されたことは高く評価する。その結果、多角的な視点と総合的な判断から、妥当なものと判断し平成29年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 東京2020大会では、ボランティア活動に取り組む区民の輪が広がる工夫の推進と中高生等の若い世代が活躍できる場の提供を。
- 江東5区広域避難計画の課題から広域避難場所の具体化や施設にとどまる要配慮者への支援、住民への周知徹底、保存版マイタイムラインシートの作成、全戸配布を。
- 様々な差別解消に努めるとともに性的指向・性自認(SOGI)の差別解消を。
- 障害者雇用の法定雇用率について、今後の維持と雇用範囲を非常勤職員への拡大を。
- 区民の利便性確保のため、コミュニティバスの早期導入を。



コミュニティバスの早期導入を

- 区民の目による防犯活動の推進と防犯上課題のある公園などへの防犯カメラの設置を。
- ラムサール条約の候補地となった葛西海浜公園に保全の調査研究やボランティア支援、子どもたちが葛西の里海に触れる機会を。
- 食品ロス削減の取り組みとともに資源リサイクルの更なる啓発を。区オリジナルの新聞回収袋の本格展開を。
- 姉妹都市盟約が締結されたセントラルコースト市との一層の友好親善と東京2020大会のホストタウンであるオランダ王国との都市交流、区内在住外国人との更なる国際交流を。

○障害者スポーツの更なる普及啓発とその担い手となる人材育成を。  
 ○中小企業振興のため、相談体制の充実と補助金のPRを。  
 ○手話言語条例に実効性を持たせるため、リレー手話通訳者制度の導入と通訳者養成講座の充実や手話入り区歌の動画をホームページに掲載を。  
 ○国の幼児教育無償化制度の実施にあたり、私立幼稚園では保護者の負担が発生するため、区独自の幼児教育無償化制度を。  
 ○児童相談所開設に向けて専門職の人材確保や育成、社会的養護等の準備の促進と区民に親しみやすい愛称の検討を。  
 ○口腔がん検診の予約は、歯科医療機関での予約を進めるとともに、胃がん検診については、内視鏡検査の導入を。  
 ○「フレイル予防」について、区民への周知徹底と出前講座など積極的な取り組みを。  
 ○風疹の対応について、予防接種の助成と抗体検査の無料化の継続、配偶者等への対策を。  
 ○自殺防止対策について、学校での「SOSの出し方授業」や「いのち見守り隊養成講座」など粘り強い取り組みを。また、SNSの活用については引き続き研究を。  
 ○教員の働き方改革プランについては、教員の長時間勤務の是正のため、給食費を含む徴収金の公会計化や部活動のあり方等の検討を。  
 ○子ども達の歯の健康を守るため、関係所管と連携し、小中学校での歯磨きなど、新たな口腔ケアの取り組みを。  
 ○日光林間施設の廃止に伴う保護者負担への補助について、今後も堅持を。  
 ○小中学校体育館への早期の空調設置と学校トイレの洋式化の推進を。  
 ○改築校の建設費について、コスト削減や規模の適正化を。また、小松川一中の改築については、より丁寧な対応を。  
 ○不登校、引きこもり対策については、未然防止の努力と関係機関との連携を深めた取り組みを。

## えどがわ区民の会(賛成)

水害や地震による災害を現実のものとして捉え、更なる災害対策の取り組みや今後の区民が主役のまちづくりを進め、夢と希望に満ちた暮らしの実現に期待し、平成29年度各会計歳入歳出決算を認定する。

〔主な要望〕

○労働環境が区民サービスに直結する指定管理者への労働条件審査の復活を。  
 ○まちあるきアプリ「えどぶら」を活用したまち歩きイベントを通して、江戸川区の魅力を発信する取り組みを。  
 ○共助を育てる公助の観点から、地域防災力向上に様々な地域の人材の活用・参画の手助けを。また消防団活動の充実に向けた取り組みを。  
 ○イングリッシュキャンプについて、イングリッシュデイとの連携や各キャンプにテーマを設けるなど特色ある取り組みを。  
 ○他の犯罪抑止にも繋げられるよう自転車盗撲滅に向けた取り組みの強化を。あわせて、受動喫煙防止・ポイ捨て禁止等について、引き続きの努力を。  
 ○都市マスタープランに関して、各事務所に地域の未来像を区民に示し関心を高めるとともに、区民参加の積極的な呼びかけを。  
 ○自転車交通安全対策について、自転車マナー

に対する共通認識の周知徹底、自転車保険の加入促進の取り組み、外国人観光客用のリーフレット等の多言語化の対応を。



### 自転車交通安全対策について

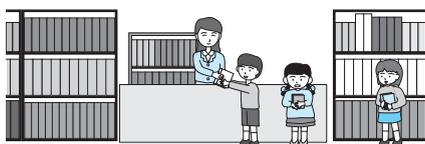
○スーパー堤防事業について、建設予定地にある歴史的価値のある建物を守る視点とスーパー堤防以外の工法による治水事業・堤防強化の検討を。  
 ○読書科について、図書館司書と連携のもと各学校の図書館の在り方を検討し、適切な環境整備を。また、英語文学や絵本を題材にした学びの機会を。

## 日本共産党(反対)

審査にあたり「大規模災害から区民を守る犠牲者ゼロの立場が貫かれているか」、「住民福祉の増進という地方自治の目的に照らし、くらしと福祉を守る立場に立っているか」、「国や都の政治に対し区民を守る立場に立っているか」の観点で慎重に審査した結果、平成29年度決算の認定に明確に反対する。

〔主な反対理由〕

○スーパー堤防と一体のまちづくり事業について、国の検討会では、北小岩一丁目東部地区で地耐力不足という欠陥を生じた従来のマニュアルに基づいた管理で良いとしている。また、今回はじめて、地権者や区にも費用負担を求めるなど約束に反し、不公平で見通しのないスーパー堤防とまちづくり事業推進に固執する立場を崩さない姿勢。  
 ○災害発生時に正確な情報をいち早く知らせるために防災行政無線の戸別受信機配備や大規模地震から命を守るため、安価に設定可能な耐震シェルターの設置が有効だが、それらを検討しないなど、「犠牲者ゼロ」に真剣に向き合わない姿勢。  
 ○施設利用料等への上乗せを進め、消費税増税を容認し、羽田空港国際線増便新ルート案の撤回を求めず、安心安全を第一としない姿勢。マイナンバー制度を政府のいいなりに進める姿勢。  
 ○学校図書館司書を23区で唯一全校配置の実施をしないこと。すすくスクールにおいて非常勤職員の正規雇用、保育時間延長や補食提供の再開を行わないこと。少人数学級の実施を国や都に求めないことや区独自の講師配置をしない等教育に必要な人を配置しない姿勢。



### 学校図書館司書の全校配置を

○国民健康保険料は、法定外繰入を4年で廃止するとして、23区で最も高い保険料率になり、区民のくらしの痛みに寄り添っていない。介護保険料も後期高齢者医療保険料も値上げされ、高齢者いじめと言わざるを得ない。

## 江戸川クラブ(賛成)

行財政改革の推進、明日を担う未来の人づくり

への投資を軸とした区政運営を期待し、平成29年度決算に賛成する。

〔主な要望〕

○都市交流について、民間の交流も含め、様々な手法で積極的な展開を。  
 ○大出張所制は、住民サービスの不均衡が推察され、コミュニティ会館での機能拡大など利用者の利便性の向上を。  
 ○迷惑喫煙の撲滅、喫煙のマナー向上はもちろん、一歩踏み込んだ施策を。  
 ○区設置の児童相談所の開設に向け、財源、専門的職員の人員配備など様々な開設準備の取り組みを。  
 ○地域包括ケアシステムにおいて、利用者家族の利便性向上や介護負担軽減に向けた、なごみの家でのワンストップサービス化を。  
 ○未就学で医療的ケアを必要とする子ども達に一刻も早い施設整備を。  
 ○保育について、育児休暇延長のための入園を望まない保護者を除外し、保育を受けたい入園を望む保護者が入園できるよう対応を。  
 ○建築指導について、迷惑建造物や状態を所有者に粘り強い働きかけを。また、完成検査済み証が存在しない違法建築物に対し、不動産が有効活用されるための改善と工夫を。



### 迷惑建造物への粘り強い働きかけを

○上篠崎スーパー堤防について、学校教育で防災、治水事業の意義を教えるなど、治水事業意義の普及を。  
 ○葛飾区に寄託されている上小岩遺跡の出土品の観覧を。また、影響の松などの区内の文化財を後世に着実に伝える努力を。  
 ○補助264号線の通学路の安全確保を。

## 生活者ネットワーク(賛成)

子どもの育ちを応援する予算執行に鑑み、平成29年度歳入歳出決算を認定する。

〔主な要望〕

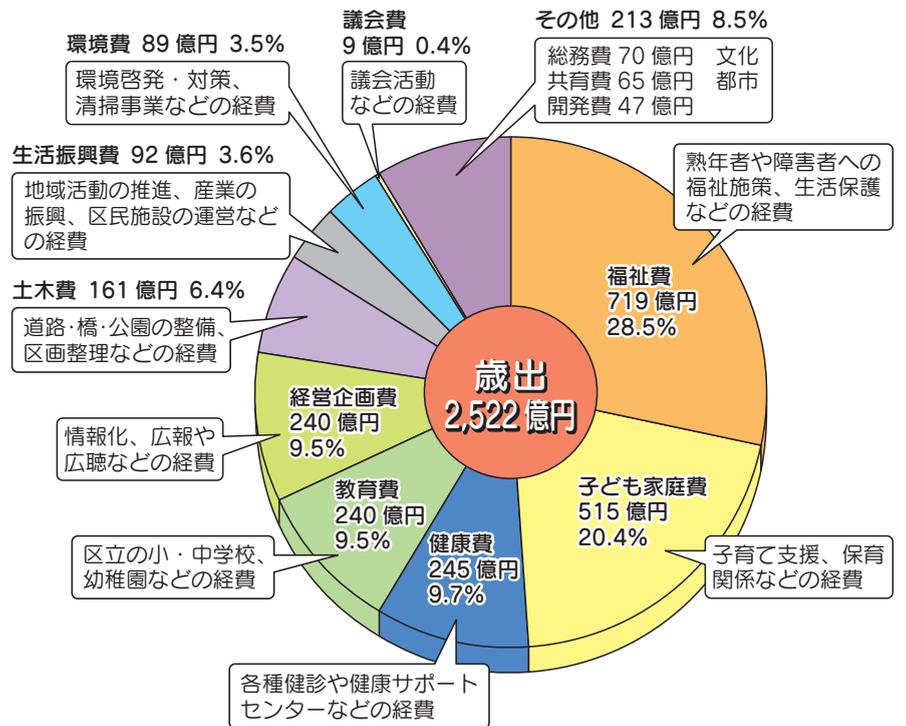
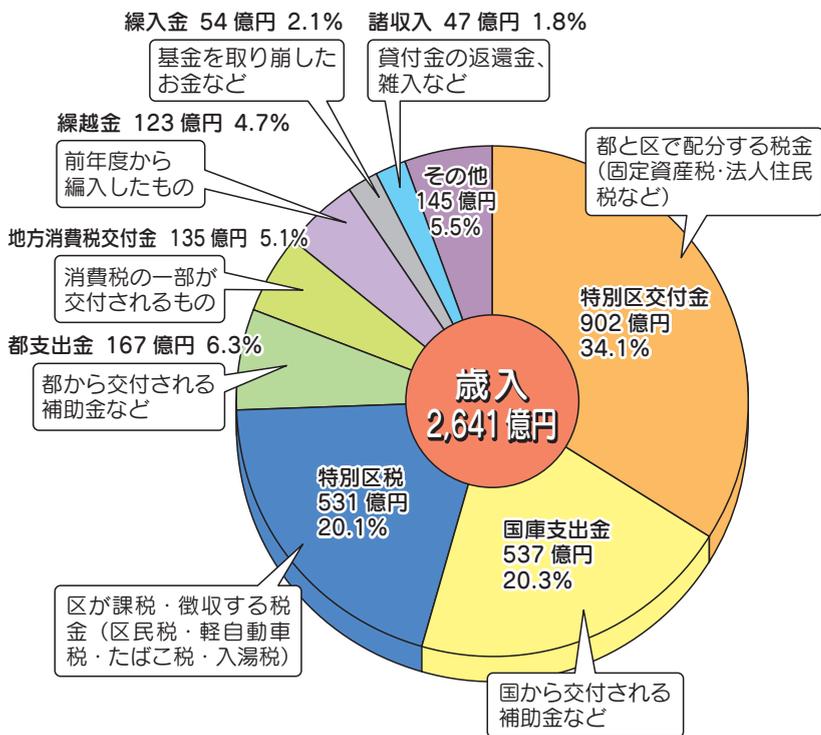
○外国人との共生社会の実現に向けて、日本語学級や日本語指導員の派遣とフォローの充実に加え、孤立しないよう支援を。  
 ○タワーホール船堀等の公共施設に託児室仕様の部屋の設置を。  
 ○化学物質過敏症の原因ともいわれる柔軟剤等の「香害」についてポスター等で周知を。  
 ○各圏域で「認知症SOSネットワーク模擬訓練」を行い地域のネットワークづくりの推進を。  
 ○外水氾濫対策は、まちづくりと一体のスーパー堤防事業ではなく、他の工法を採用し、堤防は堤防として確実に強化を。  
 ○予期せぬ妊娠を防ぐため、自分も相手も大切にする性教育を全員が受けられるように。



### 公共施設に託児室仕様の部屋を

# 平成29年度各会計歳入歳出決算のあらまし

## 一般会計



### 歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

## 特別会計

国民健康保険事業特別会計		介護保険事業特別会計		後期高齢者医療特別会計	
歳入	813億円	歳入	417億円	歳入	125億円
歳出	784億円	歳出	402億円	歳出	123億円

### 議場コンサートの開催について

平成30年第4回定例会の初日に区議会議場においてコンサートを開催します。この機会に定例会を傍聴していただき、区議会をより身近に感じてください。

**日時**  
平成30年11月27日(火) 12時10分から12時40分  
(開場: 11時50分)  
受付: 当日11時30分から 区議会事務局(本庁舎西棟3階)

**演奏場所**  
江戸川区議会議場

**演奏曲目(予定)**  
♪ エルガー: 愛の挨拶  
♪ フォーレ: ファンタジー  
♪ ドップラー: ハンガリー田園幻想曲

**その他**  
議場コンサートはどなたでも鑑賞することができます。席数に限りがございますので、満席によりご入場いただけない場合はご容赦ください。

### 平成30年第4回定例会開催予定

11月27日(火)	本会議(議案上程、委員会付託)
29日(木)	本会議(一般質問)
30日(金)	本会議(一般質問)
12月4日(火)	常任委員会(議案審査)
5日(水)	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
12日(水)	本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。  
※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

### 区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎ 福本 みつひろ	○ 竹内 すずむ
えぞえ 亮一	笹本 ひさし
小俣 のり子	